

2-12

孫育ての関わり方

社会の変化に伴い、家庭教育に関する親の考え方にも変化が生じています。親の無責任な放任や過保護が見られ、またモラルの低下が生じているなども指摘されています。

家族を結ぶものは、いろいろ考えられます。祖父母の孫育ての関わり方によって、家庭を明るくし、子供の心を豊かにしていきます。

ここでは、孫育ての関わり方について考えてみましょう。

ワーク 1

次の事例をみて、話し合ってみましょう。

【事例】

- ㊦ 道路にごみをポイッと投げ捨てる子に無関心な親
- ㊧ 動物園の入場で、長蛇の列の中で、じっと並んでいる子をほめる親
- ㊨ 近所の人に挨拶ができた子に、「えらかったね」と声かけをする親
- ㊩ レストランで席から離れ、食器で遊んでいる子に注意をしない親
- ㊪ 病院の待合室で、子供がぐずりはじめ泣きやまないのに、平気な顔で携帯を操作している親
- ㊫ 横断歩道で、手をつなぎ手を挙げてわたる親子
- ㊬ その他（ ）

- ① 事例の㊦～㊬のような場面に出くわしたことがありますか。
あなたが、子供だった頃や、子育てをしていたころと比べて、今の子供や親についてどんなことを感じていますか。

- ② グループの中で発表し合い、話し合ってみましょう。



ワーク
2

あなたのお孫さんが生まれたときのことを思い出してみましょう。

- ① 孫が生まれてどんなことを思いましたか。

- ② 親に対して、どんなことを感じましたか。また、どのような言葉がけをしましたか。

- ③ グループで意見交換をしてみましょう。



ワーク
3

孫育ての関わり方について情報交換してみましょう。

① 孫や親にどのようにかかわっていますか。

② グループで孫や親とのかかわりについて、楽しみ、喜び、失敗などの情報交換をしてみましょう。

③ グループごとに発表しましょう。



「孫育ての関わり方について」 一考え方の例として

< 孫に対しては… >

- 孫の言いなりにならない。
- 孫から教わる気持ちで遊ぶ。
- 孫の成長を楽しむ。

< 親に対しては… >

- 自分の子育てを押し付けない。
- 親の子育てを尊重する。
- 親の家庭教育を支援する。



ふりかえり

- ① グループの話し合いの中で、気づいたことはありましたか。

- ② 今日の学習を通して、考えたこと、参考にしたいことは何ですか。

資料 1

これからの家庭教育の在り方

基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など「生きる力」の基礎的な資質や能力は、家庭教育において培われるものとの認識に立ち、親がその責任を十分発揮することを望みたい。

そして、社会全体に「ゆとり」を確保する中で、家庭では、親さらには祖父母が、家族の団らんや共同体験の中で、愛情をもって子供と触れ合うとともに、時には子供に厳しく接し、「生きる力」をはぐくんでいてほしいと考える。同時に、それぞれが自らの役割を見だし、主体的に役割を担っていくような家庭であってほしいと思う。

文部科学省「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（中央教育審議会 第一次答申）」
（平成8年）より